



連携室通信

発行：公益財団法人 老年病研究所附属病院 広報委員会 ・ ISO9001 認証取得 日本医療機能評価機構認定病院

緑内障の治療

眼科医長・医局長 高玉 篤

緑内障とは

目の中の水（房水）は目の中にある毛様体で作られ、後房から前房に流れ隅角にあるシュレム管から眼外へ排出されます（図1）。房水は目の張りを一定に保っており、この目のハリを「眼圧」といいます。眼圧の正常値は21mmHg以下とされています。緑内障は、この眼圧が上がってしまう病気です。眼圧が上がると眼球の後ろにある視神経を圧迫し、視神経が萎縮してしまいます（図2）。そうすると視力が低下し、視野も狭くなります。一般的に、緑内障で悪くなった視力と視野は改善しないと言われています。

治療方法

緑内障の治療は、まずは点眼薬です。眼圧を10mmHg前後にしておけば、視野狭窄は進行しない場合が多いです。眼圧を下げる点眼薬は多種ありますが、これらを点眼しても眼圧が下がらない場合は手術の適応となります。しかし、緑内障の手術は視力・視野を回復するものではありません。現在の視力と視野を維持するための手術になります。

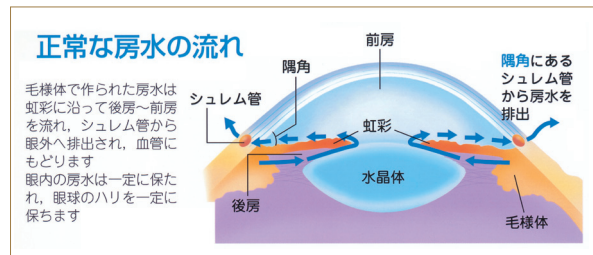


図1

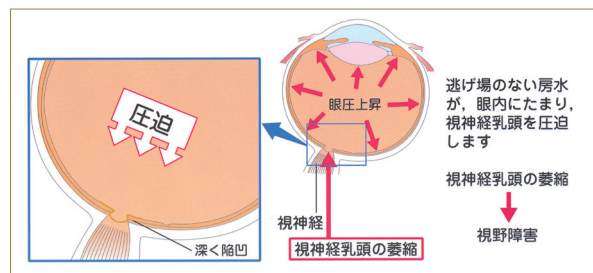


図2

手術の種類

房水を排出するシュレム管を開放する手術、強膜（白目）にフラップを作り房水を眼外に排出させる濾過手術、房水を眼外に排出するインプラントを挿入する手術があります。高齢者の場合、白内障と緑内障を同時に手術することも出来ます。手術は細菌感染が恐い為、入院が必要になります。術式にもよりますが3日から1週間程度です。

その他当院では白内障手術、眼瞼下垂などの「まぶた」の手術、顔面神経麻痺再建術もしておりますので眼科を受診の上、ご相談ください。

365日のリハビリテーション

リハビリテーション部 理学療法士 田畑 直人

出来る限り早期での回復を目指して

当院の回復期リハビリテーション病棟は2病棟体制であり、合計114床を有しています。

脳梗塞や脳出血などの脳血管障害や骨折等による後遺症で、心身機能が低下したことにより日常生活に支障をきたしている状態から、出来る限り早期での回復を目指し、患者さまが望んでいる生活に近づくことができるように、多職種が一丸となってチームアプローチに取り組んでいます。

リハビリテーション医療において、早期回復に向けた集中的なリハビリテーションを継続的に提供することが効果的とされており、当院でも土・日・祝日、お盆や正月も休まず、365日切れ目なくリハビリテーションを実施しています。

1日最大3時間実施

実施するにあたっては、患者さまの身体機能や生活機能を評価した上で、その方にとって最適な計画を立案し、理学療法・作業療法・言語療法を合わせて1日最大3時間実施しています。

基本的には担当のリハビリスタッフが中心に関わりますが、担当不在の際は他のリハビリスタッフが関わることもあります。担当だけの視点でなく、複数のリハビリスタッフの視点が加わることで、患者さまにとってより良いアプローチが行えるものと考えます。

日常生活に休みはない

患者さまにとって、365日休みなくリハビリテーションを受けるということは大変に感じるかもしれませんが、日常生活には休みはありません。また患者さまによっては、休みが入ることで体の使い方を忘れてしまうこともあります。

集中的に毎日リハビリテーションを実施することで、体の使い方が身に付きやすく、運動することで筋力や体力の向上も期待できます。そして大切なことは、リハビリテーション場面で獲得した体の使い方を、日常生活場面で使えるようになることです。

病棟スタッフとも協力して、患者さまのより良い生活動作が獲得できるように関わらせていただきます。

多職種協働で支援

患者さまの体調により、時には休みをとることも必要です。

患者さまの状態に合わせて休むべきときには休みをとり、積極的に実施するときには集中的に関われる365日体制でのリハビリテーションを実施し、在宅や地域での生活を見据えて多職種協働で支援していくことに努めています。



花名:キンモクセイ
花言葉:謙虚、気高い人
撮影者:松原信子様



老年病セミナーのお知らせ



日本医師会生涯教育講座 1.0 単位取得予定 54. 便通異常（下痢・便秘）、53. 腹痛

- 日程 平成 30 年 11 月 6 日（火） 19：00～20：15
- 場所 新館 6 階 講堂

座長 老年病研究所附属病院 内科部長 循環器内科 天野 晶夫 先生

特別講演 19：15～20：15

『慢性便秘症の最新の知見とガイドラインについて(仮)』

演者 群馬大学医学部附属病院

消化器・肝臓内科 助教 栗林 志行 先生

※医療職の方に役立つ講演会です。講演会終了後は、情報交換の場を設けさせていただいております。



11月の食事会のお知らせ



『秋の食材を楽しむ』

～きのこのこの血糖改善効果について～

- 日時：平成 30 年 11 月 2 日（金）
12：00～講演会
12：30～食事会
- 場所：新館 6 階 講堂

- ・五目混ぜご飯
- ・きくらげのスープ
- ・さんまときのこの甘酢炒め
- ・ほうれん草の生姜和え
- ・フルーツ

熱量 408kcal
 蛋白質 17.8g
 食物繊維 6.8g
 塩分 2.2g

参加ご希望の方は病院受付にお申し込みください。
会費 500 円 定員 65 名です。

10月の食事会より

『体に優しい中華料理』
～糖質を抑えた食材選びをご紹介します～



- ・ご飯
 - ・野菜スープ
 - ・油揚げぎょうざ
 - ・しらたきの中華サラダ
 - ・チンゲン菜の豆乳煮
 - ・フルーツ
- 熱量 408kcal
 蛋白質 17.9g
 食物繊維 5.4g
 塩分 1.8g

担当 管理栄養士 木賊 とくま

受付時間

午前8:30~11:30まで / 午後1:30~4:00まで (土曜の受付は11:00まで)

※急患は24時間受付けております
※禁煙外来は初診のみで再診は内科外来で行います

外来診療表

第2・第4土曜日休診
※歯科口腔外科は第2・4土曜も診察しています

平成30年10月1日

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
	時間帯						
内科	午前	高玉院長・長嶺	高玉院長・長嶺 小池(9:00~)	高玉院長・勝山	高玉院長 勝山・下田	高玉院長 勝山・長嶺	高玉院長(10:30まで) 勝山・長嶺
	午後		小池(14:00まで)				
神経内科	午前	岡本・菊池	岡本・甘利	岡本・甘利	岡本・酒井	岡本・池田	菊池
	午後	清水	清水	山内(15:30まで)	甘利(14:00まで) 漆田	池田(15:30まで)	
脳神経外科	午前	1診:内藤 2診:岩井	高玉 真	1診:内藤 2診:高玉 真	1診:内藤 2診:岩井	1診:宮本 2診:内藤	1診:高玉 真 2診:宮本
	午後		岩井(14:30まで)	岩井(14:30まで)			
整形外科	午前	佐藤(圭)・加藤	島田	佐藤(圭)・館野	佐藤(圭)(10:30まで) 加藤	館野・島田	佐藤(圭)(第1)、島田(第1,5) 館野(第3,5)、加藤(第3)
	午後	加藤		館野		島田	
眼科	午前	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤・遠藤	高玉 篤
	午後		高玉 篤	高玉 篤(隔週)	高玉 篤		
歯科・口腔外科	午前	福士・戸谷	福士・戸谷	福士・戸谷	福士・戸谷・伊達	福士・戸谷	福士(第1,3,5) 戸谷(第2,4)
	午後	福士・戸谷	茂木・福士・戸谷		福士・戸谷・伊達	福士	
皮膚科	午前	渋沢	渋沢			渋沢	
	午後			渋沢			
糖尿病外来	午前		中村(保)				中村(保)
	午後					中村(保)	
泌尿器外来	午前	矢嶋		一ノ瀬		黒川	
	午後	矢嶋					
心療内科	午前		雪竹				
	午後		雪竹				
高血圧外来	午前	中村(哲)	中村(哲)				
麻酔科	午前	増田		増田(10:30まで)		佐藤(美)	
漢方外来(内科)	午前				古川		
循環器内科	午前		天野	天野	天野	天野	天野
循環器内科(不整脈外来)	午前						田村
内視鏡	午前			山田(第2,4)	古川(胃・大腸)	乾(胃)	
禁煙外来	午前			勝山(完全予約制)	勝山(完全予約制)	勝山(完全予約制)	
リハビリテーション科	午後				神宮		
物忘れ外来(神経内科)	午後			山口(完全予約制)			
睡眠時無呼吸外来	午後					前野(月2回) (完全予約制)	
腎臓リウマチ内科	午後		大石(第1,3)				

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311(代表) FAX 027-252-7575(代表)
E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス http://www.ronenbyo.or.jp/

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135